

不登校は未然に防げる！

新たな不登校を生まない早期発見・対応の取組を全小中学校で！

担任任せにしない学校としての早期発見・対応の対策が不可欠です。コーディネーター役を担う教員を中心とした取組の充実を図りましょう。

H27はH26と比べ
長期欠席児童生徒数
12%増！
(管内小中合計・暫定値)

登校時の対応

- 不登校になる可能性がある児童生徒のリストを作成
 - ・過去に年間10日以上欠席
 - ・遅刻や早退が目立って多い
 - ・学校生活の適応感が低い (Q-U等)
- 全教職員で共通理解を図り、一人一人の実態と課題に応じた対応

平成26年度調査（岡山県）によると、
小学校は全学年で過半数が新規。
中1は6割、中2は4割が新規。

休み始めの対応

- 《3日目までの対応》
 - 欠席1日目は家庭連絡、3日目までに家庭訪問 ※3日目までに登校の働きかけ
- 《10日目までの対応》
 - SCやSSW等の専門家による適切な見立てを受けて目標や役割を明確化
 - 見立てに基づいた登校アプローチ

